

全拉致被害者の即時一括帰国を 実現せよ！ 国民大集会

経済制裁が効果をあげているので、「時間が経てば経つほど北朝鮮に不利」とはいえ、拉致被害者家族も高齢化し、一日も早く拉致被害者を取り戻さないと会えなくなる心配もあります。

また、北朝鮮は、「死亡」「未入境」とした人以外の何人かを返すことで、拉致問題を解決済とし、国交正常化資金を得ようとしてくるかもしれません。しかし、安倍晋三首相は「5人帰国」の時の経験もしており、そのような一括ではない、部分的解決には応じないはずで、「全拉致被害者の即時一括帰国」以外に北朝鮮が明るい未来を描ける道はもうないので。

私たちは政府が、全拉致被害者の即時一括帰国に向けて、国際社会と共に厳しい制裁を維持しつつ、北朝鮮から一日も早く決断を引き出していただきたいと願っています。

その声を上げるため、安倍総理にも出席をお願いして、国民大集会を下記により開催します。お知り合いの皆様にもお声掛けをしていただき、奮ってご参加ください。



1.05.19国民大集会直前の署名数報告会見

令和元年9月16日(月、祝日) 午後2時～4時半 シェーンバッハ・サポー



と き 令和元年9月16日(月) 午後2時から4時半まで

開 場 午後1時(先着順)

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サポー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL:03-3261-8386

地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口徒歩1分

5番出口(都道府県会館前)はエレベーターあり

赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)が永田町駅に接続

登壇者 安倍晋三総理大臣(要請中)、菅義偉・拉致問題担当大臣(要請中)

家族会・救う会役員、拉致議連役員、知事の会代表、地方議連代表、
各党代表、調査会役員と同家族

参加費 無料(会場カンパ歓迎)

同級生が語る横田めぐみさん

以下は、横田めぐみさんの小中学校時代の同級生眞保恵美子さんが、『正論』8月号に寄稿されたものの抜粋です。

北朝鮮による拉致事件の被害者、横田めぐみさんとは小中学校の同級生でした。めぐみさんが新潟小学校に転校してきたのは小学校六年生、昭和五十一年九月のことでした。転校初日、学校から帰宅しようとする私に自ら近づいて「ねえねえ、眞保さんって合唱部なんでしょ？私も合唱部に入ろうと思うの、よろしくね！」とはじけるような明るい声で話しかけられ、私がびっくりしたことを今も覚えています。

「私、前の学校では『ヨコ』って呼ばれてたの。そう呼んでね！」。以来、互いに「ヨコ」「ボンボさん」と呼び合い、あっという間に打ち解けていきました。私のクラスの合唱部員はめぐみさんを入れてわずか三人。帰り道も同じ方向で、すぐに互いの自宅を行ったり来たりするようになりました。

最初から合唱部に入るつもりだったただけあって、めぐみさんは歌を歌うことが大好きでした。彼女の声には小鳥がさえずるような心地よさがありました。のちに、北朝鮮でも同じ拉致被害者の曾我ひとみさんがめぐみさんと布団の中で小さな声で歌を歌ったと聞いた時には…。「ああ、本当にめぐみさんだ」と懐かしい思いが溢れました。

「ボンボさん、人前で泣いちゃダメだよ。今度泣いたら髪の毛切っちゃうからね！」。そして、期限を設けてその期間は泣かないという約束をさせられました。私も頑張ったのですが、期限のギリギリ最後で少し泣いてしまいました。すると、その日、めぐみさんの家に一緒に行くと「もうちょっとだったけど、泣いちゃったからちょっとだけ髪切るね」。

ほんの一房、私の髪をチョキンと切りました。そうして、「この髪、私の髪と一緒にとっておくね」。自分の長い髪を切った時に保管していためぐみさんの髪の手束を見せてくれました。ただ、私のためを思ってくれた、めぐみさんの優しさが嬉しく、ますます好きになりました。

中学に入ると部活動は一緒にバドミントン部に入りました。人気のクラブで一年生だけで二十七人の大所帯です。空いた時間を見つけては互いの家を行き来し、めぐみさんの十三歳の誕生日も仲良かった三人で一緒に過ごすことが出来ました。

私たちが訪ねて行くと、めぐみさんのご両親や弟たちはいつも快く迎え入れてくれました。家族の仲がよく、私から見ると横田家は理想の家族でした。お母様はいつも優しく、私が約束もなしに訪ねて行っても「めぐみ、もうすぐ帰ると思うから家で待っている？」と言って私を招き入れてくださり、写真を見せながら、めぐみさんについて色々話してくださいました。

選手に選ばれためぐみさんは、本当に一生懸命バドミントンの練習に取り組んでいました。そして迎えた新人戦。選手に選ばれためぐみさんは応援だけの私たちより一足先に会場の体育館に着いていました。試合前で不安だったのか私が会場に入ると、めぐみさんは嬉しそうな顔で「キャオ～！ボンボコ」と両手を広げて呼び掛けてくれました。その姿が目には焼き付いて、今も忘れられません。

その数日後、運命の日がやって来ました。めぐみさんは市の強化選手に選ばれ、ますます練習を頑張らなければならない時期です。朝礼で、担任の先生から「三組の横田めぐみさんが昨夜家に戻っていません」と告げられると、同級生の女の子が何人か泣き始めました。私はあまりに急で身近過ぎて、悪夢を見ているようでした。

小泉純一郎首相が平成十四年九月に訪朝し、金正日氏が拉致を認め、「五人生存、八人死亡」と伝わった時は心臓が凍り付くほどショックでした。

ただ、そこから、これほど永い道のりになるろうとは流石に想像もしていませんでした。拉致事件でなく、まだ拉致疑惑と言われていた当時、日本政府の対応は冷たいものでした。世の中の人達も興味を示さず、署名活動をしなくても街頭で振り向いてくれる人はほとんどいませんでした。

滋さんは今入院されています。私の願いは、滋さんが回復され、元気でめぐみさんご両親が再会できる事。それ以上でも、それ以下でもありません。めぐみさんにとって世界中で一番大切な人なのですから。

安倍首相に全拉致被害者の即時一括帰国の実現を求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 安倍晋三殿
首相官邸のホームページ＝<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

9/16 国民大集会

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚繁雄）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 古屋圭司）
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 黒岩祐治）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905
電話03-3946-5780 F A X 03-3946-5784 担当＝平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」／ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒラリウウウウ）